

ビワ生育情報

千葉県
平成25年12月号

平成25年11月の気象

平成25年11月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第2及び第4半旬を除く4半旬で平年と同じか下回り、月平均気温は12.5℃で、平年より0.8℃、前年より0.2℃低かった。

降水量は第3～第6半旬では平年を下回り、第5半旬では降雨がなかった。月合計は、119mmで平年より28mm(19%)、前年より110mm(48%)少なかった。

日照時間は第4～第6半旬で平年を上回った。月合計は173時間で平年より29時間(20%)、前年より17時間(11%)多かった。

表1 平成25年11月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	15.3	15.3	14.2	26	19	11	19	24	34
2	15.4	14.8	14.7	74	35	61	19	24	34
3	9.8	14.1	13.5	2	20	55	22	23	28
4	12.7	12.4	12.5	10	25	23	42	23	26
5	11.3	11.6	10.1	0	23	32	39	24	20
6	10.7	11.4	11.0	8	25	48	32	25	14
平均/計	12.5	13.3	12.7	119	147	229	173	144	156

1月の作業 (花房の発育は次ページ)

ビワは、厳寒期に入ると枝葉の伸長及び根の活動は停滞するが、開花は引き続き進行し、幼果はわずかながら肥大する。本年は、開花の進みが平年より遅いため、寒害を受けにくいと考えられるが、寒害には十分注意する。1月は春からの本格的な果実肥大に備える追肥時期である。

苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な時期が良く、通常は2月中下旬が適期である。枝や根の伸長が始まってからでは植え傷みが激しく、発芽が遅れるので、天候や苗の発育をみて時期を逃さないようにする。植え付けの準備は早めしておく。

寒害対策

ビワの幼果は、-3℃以下の低温に遭遇すると、胚(種子)が凍死し、成長が止まり落果してしまう。蕾あるいは開花中の花は寒害を受けにくい、受精後は幼果の発育が進むにつれて凍死しやすくなる。本年の開花の進みは平年より遅いため(表3)、寒害を受けにくいと考えられるが、開花が終了する1月上中旬頃からは寒害対策が必要となってくる。

ビワの寒害は、大陸性高気圧のもたらす寒波によって引き起こされる。本格的な寒波は、1月中旬から3月上旬の間に数回襲来する。この時には、ビワ園を防寒して寒害を回避する必要がある。幼木園では、こも等の被覆資材で樹体を覆う方法、あるいは枝同士を結束する方法が効果的である。成木園では、園内をヒーターで加温して寒害を防止する。火点設置場所の整備と点火及び燃料の準備をしておく。

施 肥

果実の肥大及び春枝の発芽、伸長のための追肥は、春肥または実肥と呼ばれ、1月中に施用する。ビワの根は冬期もわずかながら伸長しており、2月下旬には活発になる。春肥はこの時期に合わせて施すのが一般的で、年間施肥量の30%程度を目安に施用する。土壌pHが低い場合には、苦土石灰などの石灰資材を施用し、pH6.0～6.5に矯正する。時期別の標準施肥量は表2に示した。

表2 ビワの時期別標準施肥量（成分量 kg/10a）

時 期	耕土の浅い園			耕土の深い園		
	窒素	りん酸	加里	窒素	りん酸	加里
9月上旬（基肥）	12	9	9	11	9	7
1月中旬（春肥）	10	9	5	7	8	3
6月上旬（夏肥）	5	4	4	5	3	3
合 計	27	22	18	23	20	13

（千葉県主要農作物等施肥基準より）

管理上の留意事項

1. 土壌pHは6.0～6.5に矯正する。
2. 苦土石灰は、化学肥料施用の2週間前に施用し、その後耕うんする。
3. 施肥後は軽く耕うんする。ただし、夏肥施用後は、その必要はない。
4. 有機物は積極的に投入する。有機物の深層施用には必ず完熟堆肥を用いる。

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表3に示した。

暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月15日で、平年より5日遅く、前年より8日早かった。12月2日現在、「大房」は開花始期に至っていない。「田中」は11月19日で、平年より5日遅く、前年より4日早かった。12月2日現在、3品種共に開花盛期に至っていない。

花房の出蕾が3品種共に平年より遅かったため、開花の進みは3品種共に平年より遅れている。

樹体及び花房の生育は良好である。

表3 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期(月.日)			開花盛期(月.日)			開花終期(月.日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11.15	11.10	11.23	—	11.29	12.5	—	12.29	12.17
大房	—	11.26	12.14	—	12.22	12.30	—	1.31	2.21
田中	11.19	11.14	11.23	—	12.7	12.7	—	1.13	12.17

平年：1982年～2012年の31年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>